



ABOUT KITAKATA

- Population: 55,000 residents
- Area: 554 km²
- Feature: Town of “*KURA*”(Storage) and Ramen (Noodle)



“KURA” IN GENERAL

- Japanese Traditional Fireproof Storehouse
- Timbered Structure , Clay Wall
- Appropriate for long time storage



FEATURES OF KURA-S IN KITAKATA

- Number of *KURA-s*:
about 2600
- Rich in diversity
Various functions and designs.

Not only for storage but also for
HOUSING, COMMERCIAL,
CELLAR, WORKSHOP,
LAVATORY, etc.



FEATURES OF KURA-S IN KITAKATA



KITAKATA PROJECT

- 2001: Survey on 'Resources of Town Tourism'
- 2001: *Kura* Town Forum
- 2002: '*Kura Misse Kitakata*'
- 2003: *Kura* Study Program in Elementary School
- 2004: Renovation *Kura* into Community room
and U.D. Lab satellite base
- 2005: Plan for Kitakata city
- 2006: Landscape Agreement in Otazuki with local
Education Program about Ideal Town

Project based on Town Tourism

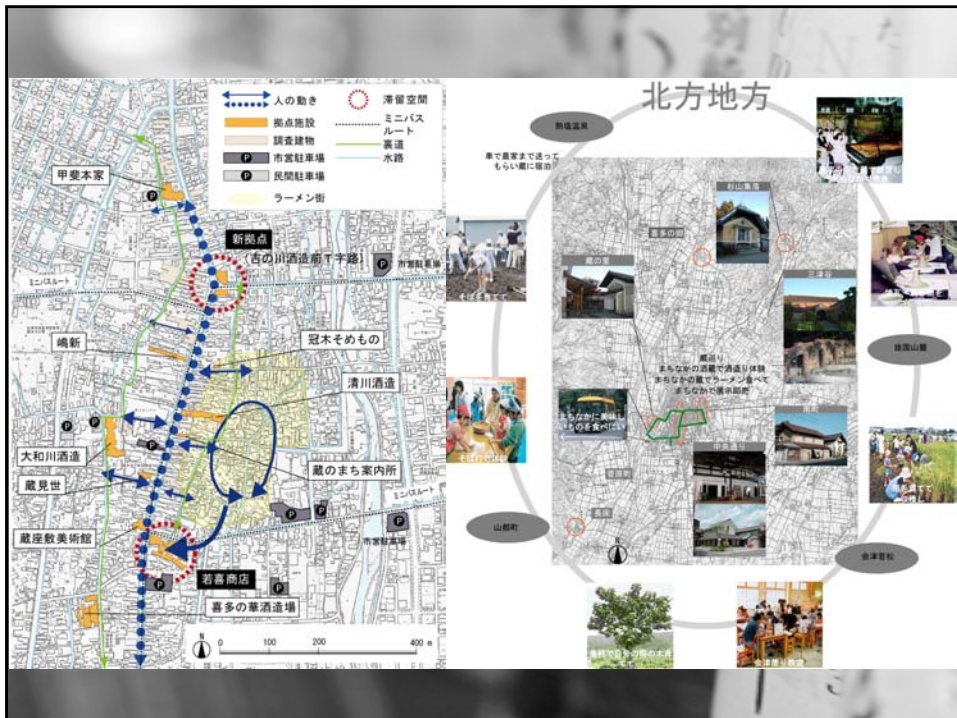
- SURVEY ON TOWN TOURISM
- KURA TOWN FORUM
- KURA MISSE KITAKATA

SURVEY ON TOWN TOURISM (2001)

- PURPOSE
 - To realize ‘Community Museum’ Concept
 - Connect in small activities & make the whole town just like one large Museum
- BACKGROUND
 - There are so many historical sightseeing resources, but the community has not taken the best advantage of the resources.

KURA TOWN FORUM (2001 / 2003)

- Presentation of our Urban Design Plan (RESOURCES OF TOWN TOURISM)
- Discussion With Local Residents.



KURA MISSE KITAKATA (2002)

- PURPOSE
 - To Make the most of KURA's fascination
- CONTENT
 - Make KURA's Map
 - Town Museum Project

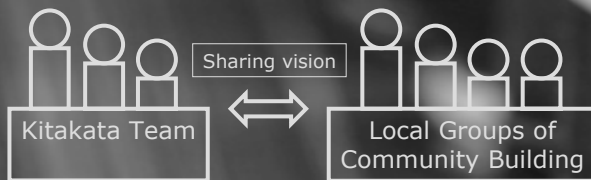


Regeneration based on Community

- MACHIZUKURI WORKSHOP
COMMUNITY
- MACHIZUKURI WORKSHOP
Between Students
- LANDSCAPE AGREEMENT in Otazuki

MACHIZUKURI MEETING (2005-)

- Purpose: Sharing vision of Kitakata between local residents, local government and Kitakata Team.
- We had held meeting with several local groups to establish machizukuri organization.



Member:
Shopkeeper
President of a company
Staff of local government
etc.

MACHIZUKURI WORKSHOP Between Students (2003 / 2004)

- Kitakata's Tour with Students and Local
- Competition about Regeneration of KURA
- Symposium with Students, Local, Staff of local government



学び会|1|サロン!!

学び会|1|サロンの目的と意義、活動の場、参加者の役割、そして今後の展望について詳しく説明されています。

学び会|1|サロンの目的と意義

- 市民は入りやすい
- 参加者も入りやすい
- 参加しやすい
- 参加者も入りやすい
- 参加者も入りやすい

学び会|1|サロンの活動の場

- 市民交流の場
- グリーンツーリズム窓口
- 福祉施設
- スペース・機材のレンタル

学び会|1|サロンの今後の展望

学び会|1|サロンの今後の展望として、市民交流の場、グリーンツーリズム窓口、福祉施設、スペース・機材のレンタルなどについて詳しく説明されています。

学び会|1|サロンの活動の場

学び会|1|サロンの活動の場として、市民交流の場、グリーンツーリズム窓口、福祉施設、スペース・機材のレンタルなどについて詳しく説明されています。

学び会|1|サロンの今後の展望

学び会|1|サロンの今後の展望として、市民交流の場、グリーンツーリズム窓口、福祉施設、スペース・機材のレンタルなどについて詳しく説明されています。



LANDSCAPE AGREEMENT in Otazuki (2006-)

-Purpose : To Grow Suitable Scenery to Otazuki Street and to Preserve KURA

-Workshop with Locals:
 -Find Street's Problem & Possibility
 -Discuss about Rule
 -Make Walking Route



通り別のイメージ

小田付景観デザイン用例集

小田付の街並み

小田付地区の景観は、歴史的建造物、松など「和」を感じさせる要素を基本として、構成されていますが、近代以降の建物が持つ景観特性は異なります。そのため、通りの特性を十分に把握し、それに合わせた景観づくりを行う必要があります。

小田付の種類のな景観(概観)



風通り

○風通り北

・町の書き入りの、書き入りの建物がバランスクな景観を築いている。
 ・清から染み出した建物もいくつか存在しており、空いたスペースに松などの緑意を添えている所もある。しかし、建群としての利用も見られ、その多くがアスファルト舗装である。
 ・外装は土壁土上、漆喰土上、板張等。
 ・原則にまとまった建の大半は高付系系統の建群。

○風通り南

・建の高低、窓や軒や地味が多い。
 ・洋の建築として、白亜塗からみて、奥に建てられた建が、視界の遠慮りから見える。
 ・1970年代後半急激な人口増加による巨大建群がある。
 ・水廻りが多いが、緑意である。



・手入れが行き届いた松が林立している(→04)
 ・高付系建群との間には、和風の緑意(→06)
 ・一般建築物は、落ち着いた雰囲気と調和した意匠(→05)
 ・松林への景観利用は、高付系建群の景観(→06)
 ・工物物や広告物も必要最小限の量、大きさである(→08)



・手入れが行き届いた松が点在する(→04)
 ・空や軒や地味、景観的に馴染む(→02)
 ・工物物や広告物も必要最小限の量、大きさである(→08)

裏通り

・各家の裏面が道に沿って残っているが、維持管理の状態はばらつきがある。
 ・道路や歩道の景観には自然素材を利用した意匠が多い。
 ・水廻り高付系建群が、一部では閑静化も活用されている。

・通り沿いに手入れが行き届いた建物が点在する(→04)
 ・覆われている軒先などの景観を確保する(→09)
 ・道路や歩道に、景観的に馴染む(→06)
 ・道路沿いは景観的に馴染む(→09)
 ・土壁や板張などの建群から、緑意がのびる(→06, 07)
 ・工物物や広告物も必要最小限の量、大きさである(→08)



01 建築物【蔵】

小田付景観デザイン用例集

蔵は、小田付の景観の骨格となる重要な建築物です。伝統を継承しながら、守り、育んでいきたいと思います。

要素の特性 -建築物【蔵】-

● 切妻平入形式が特徴の基本形態だが、表から見える土蔵も含め、要領を表に別けているものも多く、これらが混在することで、独特の気品もなっている。
 ● 外装は漆塗りによる土壁土上、漆喰土上、板張等。
 ● 原則にまとまった建の大半は高付系系統の建群。



景観づくりのポイント

●まちの連続性に配慮する



町並みに響く建築物配
 蔵の位置は、なるべく遠慮りから後述する場合は、以下のいずれかの位置に配置を行います。
 (1) 遠慮りに生活、飲食、本職、門等も設け、町並みの連続性に配慮します。ただし、遠慮りからの蔵の外装の損傷を防止しないよう、漆の劣化防止に配慮します。
 (2) 距離を確保し、ペンチや縁の設置により、まちの向かいスペースとして活用します。

●形態・色彩に配慮する



外装の色
 外装は、白漆喰仕上げ、土壁土上が基本とし、サイディング等の外装は利用を認めず、無色もしくは茶系の落ち着いた色色とします。
 屋根・庇の色
 屋根・庇の色は、景観要素の確保も、土系もしくは茶系の落ち着いた色とします。

●伝統意匠に調和させる



日本瓦葺きの屋根・建群は、原則として日本瓦葺きとします。
 外装の修繕
 開口部や外装も、景観を損ねないよう、漆喰や漆塗り等を用いて修繕を行います。
 風通りとの調和に配慮した外観のデザイン
 蔵の位置は、景観要素の確保も、土系もしくは茶系の落ち着いた色とします。

Traditional Building(esp. KURA) Management

- RENOVATION KURA into Community room and U.D. lab branch
- KURA REGENERATION PLAN
- EDUCATION PROGRAM about IDEAL TOWN

RENOVATION KURA into Community room and UD lab branch

- “*YORIAIZYO*”
(community room) opened
in July 2004.
- This *KURA* had not been
utilized before.

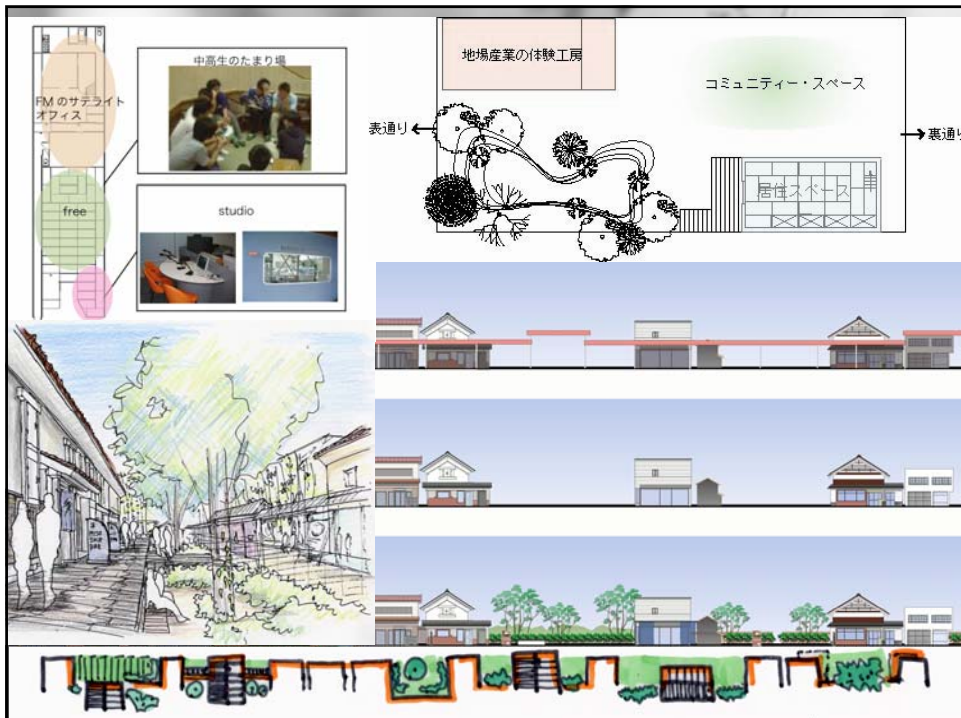


No.1 2004-2005 ->Cafe

No.2 2005~now

KURA REGENERATION PLAN

- Make a plan for Regeneration of KURA
- Propose to local and government
- Community FM Studio
- KURA Bar, KURA Hotel, KURA Hall



EDUCATION PROGRAM about IDEAL TOWN (2006-)

- Object : High School Students in Kitakata
- Goal
 - Think and Make Ideal of Kitakata
 - Heighten Relationship between high school students and Local
 - Enjoy



ขอบคุณ

Thank you

